

ワンランク上の ライブラリアンへ

中堅職員ステップアップ研修



研修事業委員会では、図書館職員の資質向上をめざした体系的な研修「中堅職員ステップアップ研修」を企画・実施しています。概要は次のとおりです。詳しくは、それぞれの開催案内で確認してください。

★2020年度は東京2020オリンピック競技大会の影響を考慮しスケジュールを検討中。2019年12月頃HPで発表する予定です。

	中堅職員ステップアップ研修(1)			中堅職員ステップアップ研修(2)			
★スケジュール	申込期間:6月中旬～8月下旬 実施期間:9～11月[6日間12科目]			申込期間:3月中旬～5月下旬 実施期間:7～10月[9日間24科目]			
開催地	東京(日本図書館協会)と大阪で交互に開催 ※2020年度は東京で開催する予定です			東京(日本図書館協会)			
対象	司書・司書補資格取得後、図書館勤務経験3年以上(※1)			(1)(2)の条件をすべて満たす方 (1)司書・司書補資格取得後、図書館勤務経験7年以上(※1) (2)①～④のいずれかに該当する方 ①次のいずれかの研修を修了した方(JLA中堅職員ステップアップ研修(1)、文部科学省図書館地区別研修、社会教育実践研究センター図書館司書専門講座) ②外部の図書館研修講師を経験した方 ③図書館関係団体での発表活動(研究集会などでの発表や著作物の発表)をした方 ④顕著な図書館活動をしているとして自己申告ができる方 ※②～④については過去3年を対象とします			
受講料		一般	正会員(※2)		一般	正会員(※2)	
	全科目受講	35,000円	20,000円	全科目受講	96,000円	84,000円	
	部分受講 1科目ごと	3,000円	2,000円	領域単位	図書館を運営する	40,000円	35,000円
					資料・情報との出会いを創出する	28,000円	24,500円
					図書館・情報インフラを発展させる	24,000円	21,000円
トピック					4,000円	3,500円	
修了証交付条件	全科目(12科目)を受講した方には、修了課題を提出していただき、審査の上、修了証を交付します。なお、部分受講の場合は、連続する2年間で全科目を受講した方が、修了課題提出の対象となります。			全科目(24テーマ)を受講した方には、修了証を交付します。領域単位で受講した場合は、連続する2年間で全科目を受講した方が交付の対象となります。			

研修内容は、公共図書館向けです。

※1 臨時等の場合は年間実労働時間の合計が概ね1500時間を1年として換算。図書館勤務経験は図書館現場での勤務経験年数を指します。

※2 個人会員および施設等会員。施設等会員のうち施設会員Aは5名、施設会員Bは4名、施設会員Cは2名まで受講できます。

詳細はHPで <http://www.jla.or.jp/> 日本図書館協会 > 委員会 > 研修事業委員会

問合せ先: 日本図書館協会 研修事業委員会担当

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

E-mail:kenshu@jla.or.jp TEL:03-3523-0811(代表)

<中堅職員ステップアップ研修(1)>

各内容は2019年度実施のものです。

	領域	区分	科目名	講師
1	1.社会の変化に対応する 図書館サービス		図書館サービスと著作権	南 亮一(国立国会図書館関西館)
2			図書館利用に障害のある人へのサービス	前田 章夫(日本図書館協会障害者サービス委員会)
3			図書館の自由	山口 真也(沖縄国際大学)
4	2.高度かつ専門的な図書館の知識・技術の向上	図書館経営	図書館政策の動向と図書館経営	向田 真理子(生駒市役所)
5			図書館のサービス計画	小林 隆志(鳥取県立図書館、認定司書)
6			図書館運営の評価と指標	西口 光夫(豊中市立庄内図書館)
7		情報サービス	レファレンスツールの評価	門上 光夫(大阪府立中央図書館)
8			レファレンスインタビューの方法	茶谷 えりか (愛荘町立愛知川図書館・秦荘図書館、認定司書)
9			レファレンスクエスチョンの処理	澤谷 晃子(大阪市立中央図書館、認定司書)
10		図書館資料	コレクションづくりの考え方	嶋田 学(奈良大学)
11			コレクションづくりの実際	
12	図書館の理解を深めるための関連トピック		人文系私設図書館Lucha Libroについて	青木 真兵、青木 海青子 (人文系私設図書館 Lucha Libro)

<中堅職員ステップアップ研修(2)>

	領域	テーマ	講師
1	1.図書館を運営する	政策動向の分析	是住 久美子(田原市中央図書館、認定司書)
2		自治体行政と図書館経営の基本	豊田 高広(フルライトスペース(株))
3		図書館経営の評価	須賀 千絵(実践女子大学)
4		図書館経営の評価実践	
5		県立図書館と県域サービス	國松 完二(京都橘大学)
6		災害と図書館	加藤 孔敬(名取市図書館)
7		図書館サービス計画の立案・策定(1)	大橋 はるか (埼玉県立熊谷図書館、認定司書)
8		図書館サービス計画の立案・策定(2)	
9		策定計画の発表と討議(1)	
10		策定計画の発表と討議(2)	
11	2.資料・情報との出会いを創出する	ネットワーク時代の図書館と図書館員	栗山 正光(首都大学東京)
12		情報サービスの評価の方法	吉田 昭子(文化学園大学、認定司書)
13		情報サービス評価の実際	
14		情報リテラシー支援(1)	高田 淳子 (獨協大学等(非常勤講師)、認定司書)
15		情報リテラシー支援(2)	
16		情報ニーズと図書館	砂生 絵里奈(鶴ヶ島市教育委員会、認定司書)
17		電子資料の動向	間部 豊(帝京平成大学)
18	3.図書館・情報インフラを 発展させる	情報資源の管理と提供	鴫田 拓哉(共立女子大学)
19		情報資源の組織化と提供の実際	
20		図書館システムの機能と要件	奥野 吉宏 (国立国会図書館関西館、認定司書)
21		図書館システムの要件定義の実際	
22		Webを活用した図書館サービスの設計	飯野 勝則(佛教大学図書館)
23		Webを活用した図書館サービスの実際	
24	トピック	出版界の現状	清田 義昭((株)出版ニュース社)

詳細は日本図書館協会 HP 研修事業委員会のページでご確認ください。
<http://www.jla.or.jp/> 日本図書館協会 > 委員会 > 研修事業委員会